

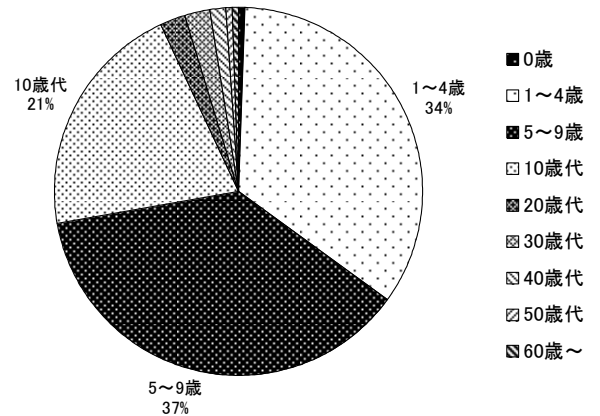
— **マイコプラズマ肺炎** : **患者報告数は依然多い!** —

県全体の定点当たり患者報告数は1.09人（前週：0.73人）と例年と比較して多い状況が続いています。2012年第1週～第45週までの累積患者報告数は定点当たり41.90人で、9歳以下の報告数が全体の約72%を占めています。なお、昨年一年間の累積患者報告数は16.04人でした。

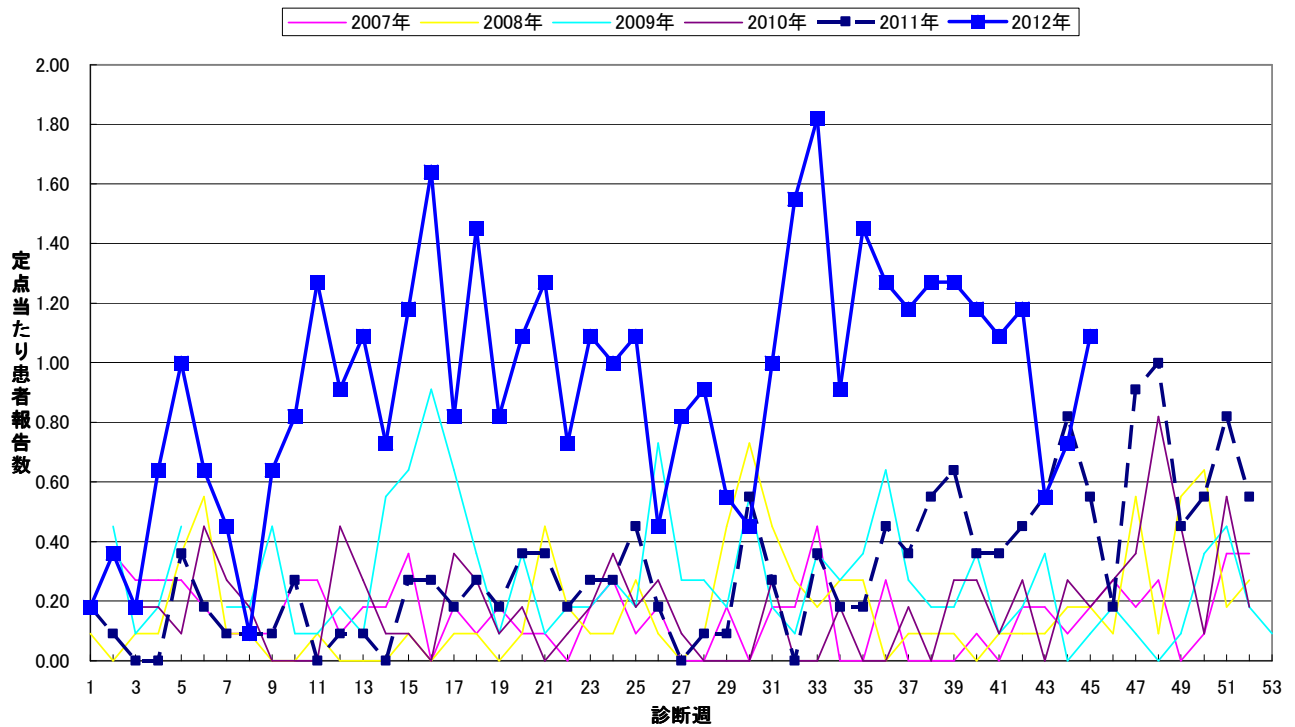
全国の第44週の定点当たり患者報告数は1.31人（第43週：1.28人）で、特に東北地方で報告数が多くなっています。

感染予防策としては、インフルエンザと同様でうがい・手洗いの励行や普段からの健康管理が大切です。

年齢分布（2012年第1週～第45週）



マイコプラズマ肺炎(和歌山県全体)



－ **RSウイルス感染症** ： 全国、県ともにやや減少傾向 －

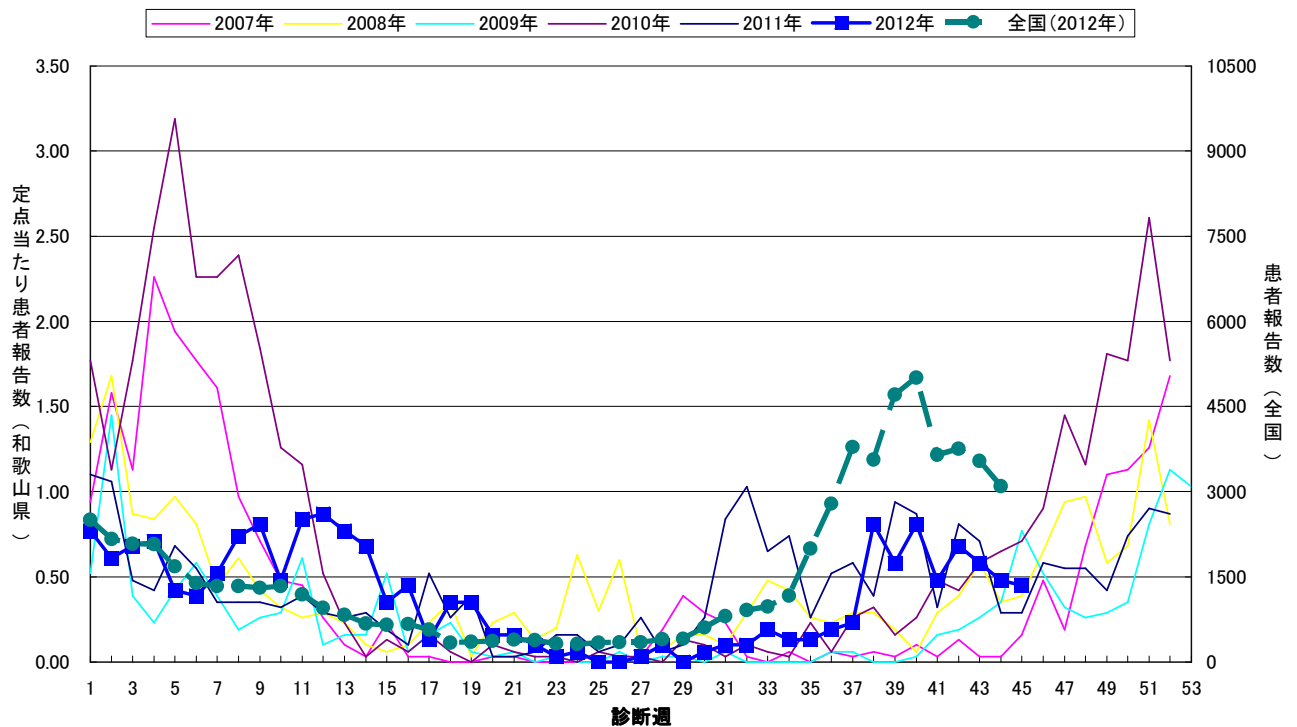
RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

和歌山県では第38週に大きく増加した後ほぼ横ばいで推移していましたが、第42週目以降はやや減少傾向となっています。今週の定点当たり患者報告数は0.45人（前週：0.48人）で、過去5年間の同時期と比較して同程度となっています。

全国約3000の小児科定点医療機関から報告された第44週の患者報告数は3092人（第42週：3541人）でした。

感染予防策としては、手洗い、うがいが基本です。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

RSウイルス感染症



◆◆ **これから注意が必要な感染症** ◆◆

－ **インフルエンザ** －

現在のところ、和歌山県では患者報告はまだほとんどありませんが、例年は12月頃から患者報告数が増え始め、1～3月にかけて流行のピークを迎えます。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 4名
 - 3類感染症：腸管出血性大腸菌 1名
 - 4類感染症：つつが虫病 1名
 - 5類感染症：報告はありませんでした。

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾患名	報告数
結核	299
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	18
A型肝炎	1
つつが虫病	4
日本紅斑熱	22
レジオネラ症	2
レプトスピラ症	1
アメーバ赤痢	1
急性脳炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
後天性免疫不全症候群	7
梅毒	5
破傷風	2
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
風しん	10

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

感染性胃腸炎（和歌山市保健所管内）

注意報レベル

ありません。

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル	疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値		開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10	伝染性紅斑	2	1	-
咽頭結膜熱	3	1	-	百日咳	1	0.1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	ヘルパンギーナ	6	2	-
感染性胃腸炎	20	12	-	流行性耳下腺炎	6	2	3
水痘	7	4	4	急性出血性結膜炎	1	0.1	-
手足口病	5	2	-	流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
	定当	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	14	4	5	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.45	0.13	0.16	0.06	0.03	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	-	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	0.06	-	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	23	-	-	-	1	3	2	3	3	2	2	3	3	1	-
	定当	0.74	-	-	-	0.03	0.1	0.06	0.1	0.1	0.06	0.06	0.1	0.1	0.03	-
感染性胃腸炎	報告	291	2	18	51	42	46	36	26	19	6	8	5	25	2	5
	定当	9.39	0.06	0.58	1.65	1.35	1.48	1.16	0.84	0.61	0.19	0.26	0.16	0.81	0.06	0.16
水痘	報告	23	2	4	4	2	6	3	2	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.74	0.06	0.13	0.13	0.06	0.19	0.1	0.06	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告	4	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	0.03	0.06	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	19	-	8	9	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.61	-	0.26	0.29	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
	定当	0.06	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	0.03	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	0.29	-	-
RSウイルス感染症	報告	5	2	5	-	-	1	1	-	-
	定当	0.56	1	1.25	-	-	0.5	0.25	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	3	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	0.75	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	10	-	4	4	3	-	2	-	-
	定当	1.11	-	1	1	1	-	0.5	-	-
感染性胃腸炎	報告	180	29	38	19	9	7	8	1	-
	定当	20	14.5	9.5	4.75	3	3.5	2	0.5	-
水痘	報告	8	1	2	2	3	2	5	-	-
	定当	0.89	0.5	0.5	0.5	1	1	1.25	-	-
手足口病	報告	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	6	1	6	1	2	1	2	-	-
	定当	0.67	0.5	1.5	0.25	0.67	0.5	0.5	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	1	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	0.5	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	2	1	-	4	3	2	…
	定当	-	…	2	0.5	-	4	1.5	2	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

10月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が3.27人(9月:2.55人)と最も多くなっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約61%となっています。

【10月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	36	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	2	1	5	22
	定当	3.27	0.18	-	-	-	0.09	-	-	-	-	0.09	0.18	-	0.18	0.09	0.45	2
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.27	-	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	0.09
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2012 年第 45 号

発行日：平成 24 年 11 月 15 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。